



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 柴田 卓 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	69,212	1.2	5,234	△39.2	7,493	△30.4	4,686	△29.6
27年3月期第1四半期	68,371	0.3	8,607	△4.9	10,774	△6.2	6,658	△10.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 6,610百万円 (△37.3%) 27年3月期第1四半期 10,537百万円 (△19.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	57.81	57.78
27年3月期第1四半期	82.13	82.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	770,223	654,801	83.2
27年3月期	768,092	653,242	83.3

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 641,097百万円 27年3月期 639,757百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	60.00	110.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	144,000	1.5	10,000	△38.4	14,000	△28.5	8,500	△32.5	104.86
通期	295,000	1.5	27,000	△15.6	35,000	△11.6	22,000	△10.3	271.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	90,139,653株	27年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	9,079,116株	27年3月期	9,077,497株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	81,061,349株	27年3月期1Q	81,072,790株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のOTC医薬品市場は、ドリンク剤、鼻炎治療剤などの一部のcategorieで前年を下回ったものの、殆どのcategorieで消費増税駆け込み需要反動減の影響を受けた前年に比較してプラスとなり、総体的に堅調に推移しました。

医薬事業につきましては、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面では生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域にも積極的に取り組み、生活者のニーズを満たす製品の開発を進めています。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化するとともに、通信販売等新チャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品事業とドリンク剤事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と国内外の企業からの有望候補物質の導入を進め、開発パイプラインの充実に努めております。

当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、692億1千2百万円（前年同四半期比＋8億4千万円、1.2%増－以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	436億円（＋24億円 5.9%増）
内訳	
国内	351億円（＋11億円 3.3%増）
海外	77 〃（＋11 〃 17.1%増）
その他	7 〃（＋1 〃 25.0%増）
医薬事業	256億円（△16億円 5.8%減）
内訳	
医療用医薬品	250億円（△12億円 4.6%減）
中間製品等	4 〃（△5 〃 54.0%減）
工業所有権等使用料収益	2 〃（＋1 〃 142.7%増）

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

#### <セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、436億円（+24億円、5.9%増）となりました。

主力ブランドでは、ドリンク剤の「リポビタンシリーズ」は、主力の「リポビタンD」が前年を下回り（2.7%減）、シリーズ全体では159億円（2.5%減）となりました。「パブロンシリーズ」は、鼻炎治療剤が前年比マイナスとなりましたが、主力の総合かぜ薬が堅調で、シリーズ全体では41億円（0.9%増）となりました。発毛剤「リアップシリーズ」は、堅調に推移し、シリーズ全体で36億円（20.6%増）となりました。

一方、アジアを中心に展開中の海外O T C医薬品事業は49億円（24.0%増）となりました。

#### <医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、256億円（△16億円、5.8%減）となりました。

主な増収品目は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」66億円（11.0%増）、骨粗鬆症治療剤「エディオール」44億円（30.5%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」11億円（76.7%増）でした。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は25億円（13.9%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は16億円（12.0%減）と、後発医薬品の影響等もあり前年比マイナスとなりました。なお、2型糖尿病治療薬「ルセフィ」は5億円（79.3%減）となりました。

利益面につきましては、売上原価の増加により売上総利益が減益となったことや、広告宣伝費、研究開発費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は52億3千4百万円（39.2%減）、経常利益は74億9千3百万円（30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億8千6百万円（29.6%減）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億円増加し、7,702億円となりました。受取手形及び売掛金が36億円、無形固定資産が21億円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が33億円、有価証券が50億円それぞれ増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億円増加し、1,154億円となりました。支払手形及び買掛金が22億円、賞与引当金が19億円それぞれ減少しましたが、未払費用が48億円増加しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億円増加し、6,548億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益47億円、その他有価証券評価差額金32億円が主な増加要因であり、剰余金の配当49億円、為替換算調整勘定17億円が主な減少要因でした。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表時から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	159,587	162,893
受取手形及び売掛金	80,321	76,729
有価証券	10,038	15,051
商品及び製品	16,925	18,187
仕掛品	1,956	1,302
原材料及び貯蔵品	8,427	8,311
繰延税金資産	6,337	6,164
その他	5,663	6,363
貸倒引当金	△175	△100
流動資産合計	289,081	294,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,109	48,528
機械装置及び運搬具(純額)	8,692	8,338
土地	37,500	37,496
建設仮勘定	693	891
その他(純額)	4,370	4,116
有形固定資産合計	100,366	99,371
無形固定資産		
のれん	22,093	21,242
販売権	5,932	5,617
商標権	14,977	14,206
ソフトウェア	1,652	1,547
その他	589	576
無形固定資産合計	45,244	43,190
投資その他の資産		
投資有価証券	264,642	263,568
関係会社株式	54,684	54,754
長期前払費用	738	692
退職給付に係る資産	7,003	7,074
繰延税金資産	5,615	5,955
その他	922	972
貸倒引当金	△206	△261
投資その他の資産合計	333,399	332,757
固定資産合計	479,010	475,319
資産合計	768,092	770,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,133	26,891
未払金	14,769	13,801
未払法人税等	3,254	2,399
未払費用	10,647	15,420
返品調整引当金	526	577
賞与引当金	3,947	2,031
その他	1,951	2,535
流動負債合計	64,230	63,658
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,432	1,221
退職給付に係る負債	22,385	22,563
繰延税金負債	19,536	20,782
その他	7,265	7,196
固定負債合計	50,619	51,764
負債合計	114,849	115,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,269	15,269
利益剰余金	609,706	609,524
自己株式	△57,643	△57,660
株主資本合計	597,332	597,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,054	43,239
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	5,744	4,011
退職給付に係る調整累計額	△3,373	△3,287
その他の包括利益累計額合計	42,424	43,963
新株予約権	298	291
非支配株主持分	13,186	13,412
純資産合計	653,242	654,801
負債純資産合計	768,092	770,223



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	68,371	69,212
売上原価	25,116	26,695
売上総利益	43,254	42,516
返品調整引当金戻入額	512	518
返品調整引当金繰入額	465	570
差引売上総利益	43,301	42,464
販売費及び一般管理費	34,693	37,229
営業利益	8,607	5,234
営業外収益		
受取利息	1,317	1,344
受取配当金	651	693
持分法による投資利益	16	—
その他	229	305
営業外収益合計	2,215	2,343
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	—	47
為替差損	21	—
支払手数料	20	19
その他	6	16
営業外費用合計	48	84
経常利益	10,774	7,493
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	47	94
関係会社清算損	39	—
特別損失合計	87	94
税金等調整前四半期純利益	10,688	7,401
法人税等	3,510	2,354
四半期純利益	7,177	5,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	519	361
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,658	4,686

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	7,177	5,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,458	2,959
為替換算調整勘定	△686	△1,729
退職給付に係る調整額	383	84
持分法適用会社に対する持分相当額	203	249
その他の包括利益合計	3,359	1,563
四半期包括利益	10,537	6,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,996	6,224
非支配株主に係る四半期包括利益	541	386

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,188	27,183	68,371	—	68,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,188	27,183	68,371	—	68,371
セグメント利益(注2)	7,144	1,716	8,860	△252	8,607

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,602	25,609	69,212	—	69,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,602	25,609	69,212	—	69,212
セグメント利益(注2)	6,067	△537	5,529	△295	5,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。